

概要

能楽は650年以上にわたり受け継がれてきた、世界でも類を見ない伝統芸能です。本講演では、能楽師が日々どのような思いで稽古や舞台に向き合っているのかを紹介するとともに、現代の観客に能楽を届けるための新たなアプローチについてお話しします。時代や社会が大きく変化する中でも、能楽の本質は今も変わらず受け継がれています。その普遍的な魅力と現代社会における意義を探ります。

講師

大江 泰正 氏
(能楽観世流シテ方)



能楽観世流シテ方。

1978年生まれ、七世大江又三郎の三男。明治創建の歴史を持つ「大江能楽堂」を拠点とし、京都を中心に精力的な演能活動を展開。観世流二十六世宗家・観世清和に師事。国内での舞台活動にとどまらず、アメリカやブルガリアをはじめとする海外公演にも多数参加。また、能楽堂での学生向けレクチャー公演を継続的に開催するなど、若者や初心者へ向けた能の普及活動と次世代への継承にも力を注いでいる。

重要無形文化財総合指定保持者。

2026年

10月2日(金)3限13:00～14:30

場所

関西大学 千里山キャンパス

第一学舎 1号館(A棟) A502 教室

[対象] All Welcome!

[申込み] 事前申込不要。直接会場にお越しください。